

履修モデル(1):ヘルスデザインコース<2018年度以降入学生>

養成人材像:企業や団体において、トップアスリートを支えるトレーナー専門職として活躍する人材(スポーツリーダーまたはコーチングアシスタント、アスレティックトレーナー、トレーニング指導者養成課程)

		1年次	2年次	3年次	4年次
総合教育科目(28単位以上)	外国語科目(8単位以上)	総合英語Ⅰ(a)【1】 総合英語Ⅰ(a)【1】 総合英語Ⅰ(b)【1】 総合英語Ⅱ(b)【1】 日本語Ⅰ-I【1】 日本語Ⅰ-II【1】 日本語Ⅱ-I【1】 日本語Ⅱ-II【1】	総合英語Ⅲ(a)【1】 総合英語Ⅳ(a)【1】 総合英語Ⅲ(b)【1】 総合英語Ⅳ(b)【1】 日本語Ⅲ-I【1】 日本語Ⅲ-II【1】		
	視野形成科目(20単位以上)	必修(4単位) スポーツ健康学入門【2】★ スポーツとキャリア形成【2】			
	必修選択(16単位以上)	統計学Ⅰ【2】 基礎科学【2】	情報リテラシーⅠ【2】 障害者福祉論【2】◆ 情報リテラシーⅡ【2】	数学【2】 生命倫理【2】 統計学Ⅱ【2】	
専門基礎科目(23単位)	講義科目 コース共通 必修(22単位)	生理学【2】◇★ 機能解剖学A【2】◇▲★ スポーツ哲学【2】◇ スポーツ社会学【2】◇◆ ヘルスデザイン論【2】◇◆★ スポーツ心理学A【2】◇◆★ スポーツ史【2】◇ スポーツビジネス論Ⅰ【2】◇ スポーツコーチング論A【2】◇◆★	運動生理学概論【2】◇★ スポーツマネジメント論【2】◇◆★		
	実技科目 コース共通 必修(1単位)	スポーツ実習入門【1】			
	コース共通 必修選択(12単位以上)	スポーツトレーニング論Ⅰ【2】◆★ 衛生学【2】 機能解剖学B【2】▲	スポーツ栄養学【2】▲★ スポーツバイオメカニクス【2】▲★ 体力測定・評価論【2】▲★ 学校保健【2】 予防医学概論【2】◆★ 公衆衛生学【2】		
専門教育科目(84単位以上)	必修選択(選択したコースから20単位以上選択)	ヘルスデザインコース			
		運動療法総論【2】▲ スポーツコンディショニング論Ⅰ【2】◆ アスレティックトレーナー概論【2】▲	リハビリテーション概論【2】 健康と疾患【2】 スポーツコンディショニング論Ⅱ【2】▲ スポーツリスクマネジメント【2】▲ テーピング・コンディショニング指導論Ⅰ【1】▲ テーピング・コンディショニング指導論Ⅱ【2】▲	運動処方・負荷テスト【2】 スポーツ医学A【2】▲ 生活習慣病と身体活動【2】▲ 運動生理学【2】▲ アスレティックリハビリテーションⅠ【2】▲★	アスレティックリハビリテーションⅡ【2】▲ スポーツ医学B【2】▲
			ジョギング・ウォーキング実習【1】 フィットネス・トレーニング実習【1】★	エアロビック運動実習【1】 体力測定・評価実習【1】▲	
				スポーツ現場実習A【4】▲ スポーツリハビリテーション実習【1】	運動負荷テスト実習【1】 運動学実習【1】 スポーツ医科学実習【1】
		スポーツビジネスコース			
スポーツコーチングコース					
選択		専門演習Ⅰ【4】	専門演習Ⅱ【4】	専門演習Ⅲ【4】	

◇=スポーツリーダー(共通Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ)<2020年度以前入学生>
◆=コーチングアシスタント(共通Ⅲ)<2021年度以降入学生>
▲=公認アスレティックトレーナー(専門)
☆=トレーニング指導者

履修モデル(2):ヘルスデザインコース<2018年度以降入学生>

養成人材像:健康増進施設において、健康運動指導士としてスポーツを通じた健康づくり指導者として活躍する人材(健康運動指導士養成課程)

		1年次	2年次	3年次	4年次			
総合教育科目(28単位以上)	外国語科目 (8単位以上)	総合英語Ⅰ(a)[1] 総合英語Ⅱ(a)[1] 総合英語Ⅰ(b)[1] 総合英語Ⅱ(b)[1] 日本語Ⅰ-I[1] 日本語Ⅰ-II[1] 日本語Ⅱ-I[1] 日本語Ⅱ-II[1] <small>※外国人留学生のみ対象</small>	総合英語Ⅲ(a)[1] 総合英語Ⅳ(a)[1] 総合英語Ⅲ(b)[1] 総合英語Ⅳ(b)[1] 日本語Ⅲ-I[1] 日本語Ⅲ-II[1] <small>※外国人留学生のみ対象</small>					
	視野形成科目 (20単位以上)	必修(4単位) スポーツ健康学入門[2] スポーツとキャリア形成[2]						
	必修選択(16単位以上)	基礎科学[2]	障害者福祉論[2]	コミュニケーション論[2] 統計学Ⅰ[2] 情報リテラシーⅠ[2]	スポーツレクリエーション論[2] 女性とスポーツ[2]			
卒業所要単位数(124単位)	専門基礎科目 (23単位)	講義科目 コース共通必修(22単位) 生理学[2]○ 機能解剖学A[2]○ スポーツ哲学[2] スポーツ社会学[2] ヘルスデザイン論[2]○ スポーツ心理学A[2]○ スポーツ史[2] スポーツビジネス論Ⅰ[2] スポーツコーチング論A[2]	運動生理学概論[2]○ スポーツマネジメント論[2]					
	実技科目 コース共通必修(1単位)	スポーツ実習入門[1]						
	専門基礎科目 (12単位以上)	コース共通必修選択(12単位以上) スポーツトレーニング論Ⅰ[2] 衛生学[2] 機能解剖学B[2]	スポーツ栄養学[2]○ スポーツバイオメカニクス[2]○ 体力測定・評価論[2]○ 予防医学概論[2]○ 公衆衛生学[2]					
専門教育科目(84単位以上)	必修選択(選択したコースから20単位以上選択)	ヘルスデザインコース	運動療法総論[2] スポーツコンディショニング論Ⅰ[2] アスレティックトレーナー概論[2]	リハビリテーション概論[2] 健康と疾患[2] スポーツコンディショニング論Ⅱ[2]	運動処方・負荷テスト[2]○ スポーツ医学A[2]○ 生活習慣病と身体活動[2]○ 運動生理学[2] アスレティックリハビリテーションⅠ[2]	アスレティックリハビリテーションⅡ[2] スポーツ医学B[2]○		
		ヘルスデザインコース		ジョギング・ウォーキング実習[1]○ フィットネス・トレーニング実習[1]○	エアロビック運動実習[1]○ 体力測定・評価実習[1]○		健康増進施設実習[2]○ スポーツリハビリテーション実習[1]	運動負荷テスト実習[1]○ 運動学実習[1]
		スポーツビジネスコース	地域スポーツ経営論[2]					
		スポーツビジネスコース						
		スポーツコーチングコース	スポーツトレーニング論Ⅱ[2]					
スポーツコーチングコース			体づくり運動実習[1] 体づくり運動指導論演習[2]	スイミング実習[1]○ スイミング指導論演習[2]				
選択			専門演習Ⅰ[4]	専門演習Ⅱ[4]		専門演習Ⅲ[4]		

○=健康運動指導士

履修モデル(3):スポーツビジネスコース<2018年度以降入学生>

養成人材像:スポーツ関連産業(メーカー, マスコミ, 広告代理店)及びスポーツ競技団(プロ野球, Jリーグ等)にてスポーツビジネスのプロモーションやプロデュースを行う人材

		1年次	2年次	3年次	4年次
総合教育科目(28単位以上)	外国語科目 (8単位以上)	総合英語Ⅰ(a)[1] 総合英語Ⅱ(a)[1] 総合英語Ⅰ(b)[1] 総合英語Ⅱ(b)[1] 日本語Ⅰ-I[1] 日本語Ⅰ-II[1] 日本語2-I[1] 日本語2-II[1] <small>※外国人留学生のみ対象</small>	総合英語Ⅲ(a)[1] 総合英語Ⅳ(a)[1] 総合英語Ⅲ(b)[1] 総合英語Ⅳ(b)[1] 日本語3-I[1] 日本語3-II[1] <small>※外国人留学生のみ対象</small>		
	視野形成科目 (20単位以上)	英語コミュニケーションⅠ(a)[1]	英語コミュニケーションⅠ(b)[1]	英語コミュニケーションⅡ(a)[1]	英語コミュニケーションⅡ(b)[1]
専門基礎科目 (23単位)	必修(4単位)	スポーツ健康学入門[2] スポーツとキャリア形成[2]			
	必修選択(16単位以上)	法学(日本国憲法)[2] 統計学Ⅰ[2]	経営学[2] 統計学Ⅱ[2]	情報リテラシーⅠ[2] 障害者福祉論[2] 情報リテラシーⅡ[2] 女性とスポーツ[2]	
卒業所要単位数(124単位)	専門基礎科目 (12単位以上)	スポーツ法学Ⅰ[2]	スポーツ栄養学[2] スポーツバイオメカニクス[2] 学校保健[2] スポーツ産業論[2] スポーツビジネス論Ⅱ[2] 予防医学概論[2] 公衆衛生学[2]		
	専門必修科目 (84単位以上)				
専門必修科目 (84単位以上)	必修選択(選択したコースから20単位以上選択)	ヘルスデザインコース			
		ヘルスデザインコース 運動療法総論[2] スポーツコンディショニング論Ⅰ[2] Health and Exercise Sciences[2]	健康と疾患[2]		
専門必修科目 (84単位以上)	必修選択(選択したコースから20単位以上選択)	スポーツビジネスコース			
		スポーツビジネスコース レジャー論[2] スポーツ文化論[2] 地域スポーツ経営論[2] スポーツ組織論[2] スポーツ経済論[2] スポーツメディア論[2]	スポーツと政治[2] スポーツマーケティング論[2] スポーツ行政論[2] スポーツ法学Ⅱ[2] スポーツ取材論[2]	スポーツビジネス論Ⅲ[2] マーケティングリサーチ実習Ⅰ[1]	スポーツジャーナリズム論(新聞)[2] スポーツジャーナリズム論(放送)[2] スポーツ消費者行動論[2] スポーツ政策論[2] マーケティングリサーチ実習Ⅱ[2]
専門必修科目 (84単位以上)	必修選択(選択したコースから20単位以上選択)	スポーツコーチングコース			
		スポーツコーチングコース トップアスリート論[2]	スポーツ心理学B[2]		
選択		専門演習Ⅰ[4]	専門演習Ⅱ[4]	専門演習Ⅲ[4]	

履修モデル(4): スポーツコーチングコース< 2018 年度以降入学生 >

養成人材像: 学校や企業、団体において健康運動指導者及びスポーツ指導者として活躍する人材 (スポーツリーダーまたはコーチングアシスタント, 健康運動実践指導者, トレーニング指導者養成課程)

		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
総合教育科目 (23 単位以上)	外国語科目 (8 単位以上)	総合英語 I (a) [1] 総合英語 II (a) [1] 総合英語 I (b) [1] 総合英語 II (b) [1] 日本語 1-I [1] 日本語 1-II [1] 日本語 2-I [1] 日本語 2-II [1]	総合英語 III (a) [1] 総合英語 IV (a) [1] 総合英語 III (b) [1] 総合英語 IV (b) [1] 日本語 3-I [1] 日本語 3-II [1]		
	視野形成科目 (20 単位以上)	必修 (4 単位) スポーツ健康学入門 [2] ★ スポーツとキャリア形成 [2]			
	必修選択 (16 単位以上)		障害者福祉論 [2] ◆	コミュニケーション論 [2] 情報リテラシー I [2] 情報リテラシー II [2] スポーツレクリエーション論 [2]	統計学 I [2] 数学 [2]
卒業所要単位数 (124 単位)	専門基礎科目 (22 単位)	生理学 [2] ◆ ★ 機能解剖学 A [2] ◆ ★ スポーツ哲学 [2] ◆ スポーツ社会学 [2] ◆ ◆ ヘルスデザイン論 [2] ◆ ◆ ◆ ★ スポーツ心理学 A [2] ◆ ◆ ◆ ★ スポーツ史 [2] ◆ スポーツビジネス論 I [2] ◆ スポーツコーチング論 A [2] ◆ ◆ ★	運動生理学概論 [2] ◆ ◆ ★ スポーツマネジメント論 [2] ◆ ◆ ★		
	実技科目 (1 単位)	スポーツ実習入門 [1]			
	専門基礎科目 (12 単位以上)	スポーツトレーニング論 I [2] ◆ ★ 衛生学 I [2]	スポーツ栄養学 [2] ◆ ★ スポーツバイオメカニクス [2] ◆ 体力測定・評価論 [2] ◆ ★ 学校保健 [2] 予防医学概論 [2] ◆ ◆ ★		
専門教育科目 (34 単位以上)	ヘルスデザインコース	スポーツコンディショニング論 I [2] ◆	リハビリテーション概論 [2] スポーツコンディショニング論 II [2] スポーツリスクマネジメント [2] ● テーピング・コンディショニング指導 I [1] ● テーピング・コンディショニング指導 II [2] ●	スポーツ医学 A [2] 生活習慣病と身体活動 [2] アスレチックリハビリテーション I [2] ★	アスレチックリハビリテーション II [2] スポーツ医学 B [2]
			ジョギング・ウォーキング実習 [1] ● フィットネス・トレーニング実習 [1] ◆ ★	エアロビック運動実習 [1] ● 体力測定・評価実習 [1] ●	
	スポーツビジネスコース	地域スポーツ経営論 [2]	スポーツマーケティング論 [2]		
	スポーツコーチングコース	スポーツトレーニング論 II [2]	スポーツ運動学 ★ スポーツコーチング論 B スポーツ心理学 B		
必修選択 (選択したコースから 20 単位以上選択)	ヘルスデザインコース		器械運動実習 [1] 器械運動指導論演習 [2] 体づくり運動実習 [1] 体づくり運動指導論演習 [2]	ソフトボール実習 [1] ソフトボール指導論演習 [2] 野外教育実習 (スノー) [1] スポーツコーチング海外演習 [2]	陸上競技実習 [1] 陸上競技指導論演習 [2] スイミング実習 [1] ● スイミング指導論演習 [2] ●
	スポーツビジネスコース				
選択		専門演習 I [4]	専門演習 II [4]	専門演習 III [4]	

◇=スポーツリーダー (共通 I + II + III) < 2020 年度以前入学生 >

◆=コーチングアシスタント (共通 III) < 2021 年度以降入学生 >

●=健康運動実践指導者

★=トレーニング指導者